

# 歩みはとめない、

地域の人たちの長年にわたる要望と強い願いにより、東に遠望峰山、西に広田川が流れるここ幸田の地に、愛知県立幸田高等学校が昭和47年4月に創立されてから、今年で40年を迎えました。

これまでも同校は、「地域や社会の次代を担う人材」を育成することを目的として、校訓に『洞察・真面目・責任感』を掲げ、これを実現するために、努力してきました。

創立40周年をひとつの区切りとし、また、次なる出発点として、創立時に立ち返り、新たな幸田高校づくりを目指します。



<校地の造成>

もとは高低差のある麦畑、茶畑、柿畑。昭和46年の5月から7月のわずか2カ月で平坦に造成され、8月に起工式が行われた。

<学校全景>



創立4年目に体育館が完成し、現在とほぼ同じ校舎配置となる。校地の木や周辺の住宅もまだ少ない。

## 学校組織の変遷

- 昭和47年 開校（普通科・家政科）
  - 平成7年 家政科から生活情報科へ
  - 平成16年 普通科に情報活用コース新設
  - 平成18年 生活情報科閉科
  - 平成23年 普通科20学級（3学級情報活用コース）
- これまでの卒業生 12,484人

<校訓碑>



創立5周年にあたる昭和51年度に完成。校章をデザインした車回しとともに、玄関周辺が整備される。

<開校式>



水を打ったような静けさと緊張感の中で挙行された。  
(昭和47年4月)

<初めての合格発表>



普通科2.1倍、家政科1.4倍の難関を突破しての合格発表  
(昭和46年3月)

<針供養>



家政科が使う折れた針を供養するための石碑。毎年2月に「きさざぎ祭」として行われた。

# つぎの10年に向けて



開校当時は、草取りとローラー引きに明け暮れ、“幸田農学校”とも称された。

### 《幸田高校 3つの取り組み》

- 帰属意識を高め、将来の幸田町を担う人材の育成に取り組んでいます。
- 家庭や地域、中学校と連携・協力し、学校を正しく理解してもらうための取り組みを行っています。
- “町内唯一の高等教育機関”として、文化・教養面からまちづくりの一翼を担っていきます。

<第1回マラソン大会>



1,2年生全員、男子7.5km、女子6kmのコースで行われた。(昭和55年2月)現在は耐寒訓練のあとに駅伝マラソン大会として実施している。

<名物ホイサッサ>



体育大会での男子生徒による肉体のアート?校歌斉唱後演技が始められた。10年前ごろから行われなくなっている。

<最後のファッションショー>



家政科生徒による文化発表会での一コマ。この年を最後に家政科は歴史に幕を閉じた。(平成8年9月)

### 《生徒の活動 行事と部活動》

2000年に始まった北海道への修学旅行、創立9年目(1980年)から続くマラソン大会、今年度から「凜祭」として新たなスタートを切る文化祭・体育祭など、伝統に新しい風を加えながら、多くの行事に生徒が積極的に取り組んでいます。

また、運動部・文化部ともに男女12の部活動が、諸先輩の栄光の歴史に新たなページを刻むために、日々練習に励んでいます。



<ラフティング体験～北海道修学旅行～

<応援の看板とマスコット～体育祭～



<相見駅方面から学校を望む>



新駅東側の道路を進むと学校が見えてくる。こぎの10年はここから始まる。

《新たな始まり ～駅と制服～》  
平成24年3月には学校の西に「JR相見駅」の開業が予定され、学校周辺の環境が大きく変化します。  
新駅を中心として発展していく「新しいまち」の中心に幸田高校が位置づけられるよう、心豊かで夢と希望にあふれた生徒の育成を推し進めていきます。  
また、来年度の新入生から着用できるよう、現在、**新しい制服のデザイン**が検討されています。  
「新しいまち」で「新しい制服」を身にまとった幸田高生が、こぎの10年に向けて歩み始めます。



▲俳句甲子園全国大会決勝VS開成高校

## 受け継がれる**伝統** ～部活動～



▲東海大会出場者(ワンダーフォーゲル)



▲県大会出場決定の瞬間(サッカー)

4月後半に行われる高校総体の地区予選を皮切りに、年間を通じて各種大会に臨み、今年度は例年以上の好成績を残しています。

書道文芸部は松山市で開催される**俳句甲子園全国大会に10年連続出場**し、決勝で開成高校(東京都)に惜しくも敗れはしましたが、平成19年度以来、**2度目の準優勝**に輝きました。また、弓道部(男子個人戦)が全国高校総体に、弓道部とワンダーフォーゲル部が東海大会に出場しました。

部活動をより活性化するための新たな取り組みとして、現在はまたバスケットボール部ですが、今年度から地域の指導者をコーチに招き、中学校から継続した指導方法による技術の向上を図っています。



▲全国高校総合体育大会出場者(弓道)



▲甲子園を目指して(野球)



▲吹奏楽部定期演奏会



▲定期演奏会でのミュージカル(吹奏楽)



▲クラス対抗リレー



▲応援にも力が入ります

▶クラス企画での東北物産展にて



◀クラス企画でのスライム作り



毎年9月に行われてきた体育大会と文化発表会を今年度から「幸凜祭（体育祭・文化祭）」という名称にあらためました。生徒が中心となって実施してきた行事を、より一層活発なものにするためのひとつの取り組みです。学校祭のネーミングは生徒からの募集で決定されました。「幸」は学校名、「凜」は「ちかから凜々と文化を拓き」と歌われる校歌の一節から引用されています。

3年生は高校生活最後の大きなイベントに最上級生の威信をかけ、2年生は1年生の時とは異なる思いで臨み、1年生は上級生の迫力に圧倒されながらも懸命に取り組んでいました。



▲クラス企画で作った40周年どら焼き



▲ステージ発表でのダンス

# 新たな歴史の始まり ～幸凜祭～



▲開会式



▲幸凜祭実行委員会

## 〈第1回 幸凜祭へ向けて〉

今年は幸田高校創立40周年という大切な年です。僕たち生徒会は「本当に大丈夫か、無事に成功できるのか」不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、生徒会一同記念すべき第1回幸凜祭を盛り上げていこうと、実行委員会を立ち上げ、多くの人たちの協力をもらいました。おかげさまでスムーズに準備を進め、成功させることができました。生徒の皆さん、実行委員の皆さん、ありがとうございました。（生徒会書記 山崎達也）